

ICKII 2025にてBest Conference Paper Awardを受賞

IEEE Tainan Section Sensors Council (IEEE TSSC)が主催する、2025年8月22日～24日に開催された8th International Conference on Knowledge Innovation and Invention 2025 (ICKII 2025)において、白石悠広氏（システム情報工学研究群リスク・レジリエンス工学学位プログラム博士後期2年）が、臼田裕一郎教授との共著により、「**Development of a Building Damage Extraction and Mapping Technique from Ground-Level Images Using Visible Remote Sensing Indices and Edge Angle Dispersion**」と題する口頭発表を行い、Best Conference Paper Awardを受賞しました。

(受賞コメント) 私は、臼田裕一郎教授のご指導のもと、画像解析とマッピングの手法を活用し、倒壊家屋の被害状況を迅速に把握する研究を行っています。迅速かつ正確な被害状況の抽出技術を開発する上で、実用性の高い手法の構築を実現したことが今回の受賞に結びついたと思います。本手法が災害現場において被害の把握に貢献することを実証し、被災地の支援に役立てたいと考えています。



口頭発表を終えて発表証明書を受け取る発表者
(左から白石悠広氏、司会の王教授)



賞状を中央に掲げる受賞者
(左から白石悠広氏、臼田裕一郎教授)



Best Conference Paper Award

臼田 裕一郎 Yuichiro Usuda
防災情報レジリエンス研究室(臼田裕一郎研究室)